

地域理学療法学

contents

● 序 重森健太 3

第 1 章 総論

1	地域リハビリテーションの概念 井口 茂	14
1	地域リハビリテーションの歴史と概念	14
	1) 地域リハビリテーションの歴史 2) 地域リハビリテーションの考え方 3) 地域リハビリテーションの定義と活動指針	
2	地域リハビリテーションの範囲	18
	1) 地域の捉え方 2) ケアの範囲と地域リハビリテーション 3) 医療・保健・介護からみた地域リハビリテーションの範囲	
3	地域の中でのリハビリテーションの位置づけ	20
	1) 保健医療圏における地域リハビリテーション 2) 地域包括ケアと地域リハビリテーション 3) 地域リハビリテーションにおける「障害」の捉え方	
4	世界の動向	23
	1) CBRの歴史と考え方の変遷 2) CBRの定義と構成要素 3) CBRの実践方法 4) CBRの実践とわが国の地域リハビリテーションの相違	
2	地域理学療法の概念 佐藤三矢	27
1	地域理学療法とは	27
	1) 「地域」は在宅生活だけではない 2) 地域理学療法の枠組み 3) 従来イメージからの脱却 4) 新しい地域理学療法のはじまり 5) 求められる「生活行為の向上」 6) 理学療法士に求められる新たな素養 7) 介護予防の変化 8) 医療現場での変化 9) これからの地域理学療法とは	
2	地域における理学療法士の役割（他職種連携）	33
	1) 専門職の連携（IPW） 2) コミュニケーション能力の重要性 3) 他職種連携の事例紹介 4) 認知症を熟知する作業療法士や介護職員に学ぶ	
3	地域における理学療法士の“これまで”と“今後の展望”	38
	1) 今後の時流 2) 理学療法士の社会的信頼を高める 3) 地域理学療法の現場は広げることができる	

第2章 地域理学療法に関連制度と関連法規

明崎禎輝, 芥川知彰

1	社会保障制度の整理	41
1	社会保障の流れ.....	41
2	健康増進制度の変遷.....	42
2	地域理学療法に関連法規	45
1	医療保険制度.....	45
2	介護保険制度.....	46
	1) 目的 2) 保険者と被保険者 3) 介護サービス利用の流れ 4) サービス内容 5) 介護認定の有効期間 6) 福祉用具	
3	障害者総合支援法.....	51
	1) 目的 2) サービス 3) 給付の対象者 4) サービス利用の流れ	
4	バリアフリー新法.....	53
	1) バリアフリー関連の変遷 2) バリアフリー新法の概要	
	付録表 身体障害者障害程度等級表.....	56
3	地域における社会資源	59
1	社会資源とは.....	59
2	社会資源の種類.....	59
	1) 社会資源の分類 2) 地域理学療法に関連する社会資源 (サービスを中心に)	
3	社会資源に関連する諸制度.....	64
4	対象者別にみた社会資源.....	65
	1) 高齢者が対象になる社会資源 2) 障害児(者)が対象になる社会資源	
5	地域理学療法における社会資源の課題.....	68
	1) 介護保険の地域格差 2) 専門職の人材不足	
	自己学習項目：地域の社会資源調査	70
	国家試験練習問題 (2章).....	72

第3章 住環境評価と住環境整備

岡本加奈子

1	高齢者の生活と環境とのかかわり.....	73
	1) 高齢者の環境適応能力と環境圧力の生態学的モデル 2) 高齢者の住宅事故の特徴 (東京消防庁調査より)	
2	住環境評価.....	75
	1) ICFの視点 2) 介護保険法における住環境評価の流れ 3) 各行為の分析	
3	住環境整備.....	78
	1) 住環境整備の共通事項 2) 住環境整備の実際	

2	医療保険制度下での地域理学療法	136
	1) 理学療法の効果 2) 病期別理学療法	
3	介護保険制度下での地域理学療法	139
4	理学療法介入のポイント	140
	1) 歩行障害に対して 2) バランス障害に対して	
5	日常生活指導のポイント	144
	1) 移動動作 2) 立ち上がり 3) 姿勢保持 4) 起居動作 5) セルフケア 6) 書字動作	
6	臨床評価の紹介	148
	1) Unified Parkinson's Disease Rating Scale (UPDRS) 2) 症状日誌 3) Freezing Of Gait Questionnaire (FOGQ) 4) Timed Up and Go test (TUG) 5) Berg Balance Scale (BBS), Balance Evaluation Systems Test (BESTest) 6) 転倒 7) 6分間歩行テスト 8) Trail Making Test (TMT) -A, B 9) Frontal Assessment Battery (FAB) 10) Parkinson's Disease Questionnaire-39 (PDQ-39) 11) The Schedule for the Evaluation of Individual Quality of Life Direct Weighting (SEIQoL-DW)	
	実習課題：すくみ足の評価	152
	国家試験練習問題 (5章-2)	154
3	骨関節障害 吉田一也	156
1	骨関節障害とは	156
	1) 骨関節障害の概要 2) 骨関節障害の理学療法	
2	膝部の機能解剖	157
	1) 膝部の構造 2) 膝部の機能	
3	変形性膝関節症とは	161
	1) 変形性関節症の概要 2) 変形性膝関節症の概要 3) 変形性膝関節症の症状	
4	医療保険制度下での地域理学療法	164
	1) 手術療法 2) 保存療法	
5	介護保険制度下での地域理学療法	165
6	日常生活指導のポイント	168
	1) 体重管理 2) 疼痛管理 3) 動作指導	
7	臨床評価の紹介	168
	1) 医師による鑑別診断 2) 理学療法評価	
	実習課題：膝OAの体験	174
	国家試験練習問題 (5章-3)	176
4	内部障害 内田 学	178
1	呼吸器疾患の代表的な疾患	178
	1) 慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease : COPD)	
2	医療保険制度下での地域理学療法	182
	1) 呼吸リハビリテーション 2) 薬物療法 3) 酸素療法 4) 人工呼吸療法 5) 外科療法	

3	介護保険制度下での地域理学療法	184
4	医療機関から地域に展開させるために必要な地域理学療法	185
5	日常生活指導のポイント	185
	1) 呼吸困難時の対応 2) ADL動作の工夫	
6	臨床評価の紹介	187
	1) COPDにおける検査の実際 2) 呼吸器疾患におけるフィジカルアセスメント 3) その他、必要に応じて実施する機能評価	
	実習課題：COPDの疑似体験	197
	国家試験練習問題 (5章-4)	199
5	小児疾患 儀間裕貴, 柳沼和美	201
1	小児地域理学療法の背景と対象	201
	1) 背景 2) 目的 3) 対象	
2	理学療法士がかかわる機関と現状	203
	1) NICU 2) 急性期小児病棟 3) 医療型障害児入所施設 (旧重症心身障害児施設・肢体不自由児施設) 4) 訪問看護ステーション 5) 保育所, 幼稚園, 学校, 特別支援学校	
3	小児地域理学療法の実際	206
	1) NICUにおける新生児期・乳児期の取り組み 2) 乳児期・幼児期の取り組み 3) 学童期の取り組み 4) 成年期以降の取り組み	
4	評価方法	217
	1) 発達スクリーニング検査 2) 粗大運動能力尺度 (gross motor function measure : GMFM) 3) 粗大運動能力分類システム (Gross Motor Function Classification System : GMFCS) 4) The Functional Independence Measure for Children (Wee FIM) 5) リハビリテーションのための子どもの能力低下評価法 (Pediatric Evaluation of Disability Inventory : PEDI)	
	実習課題：症例への評価・介入	222
	国家試験練習問題 (5章-5)	224

第6章 予防理学療法

1	サルコペニアと介護予防 山田 実	226
1	はじめに	226
	1) 介護予防とは 2) フレイル, サルコペニアとは	
2	サルコペニアの理解	228
	1) サルコペニアの判定 2) サルコペニアのメカニズム	
3	世界の動向 (システマティックレビュー)	231
	1) フレイルに対する運動介入の効果 2) サルコペニアの予防・改善効果	
4	わが国における介護予防の実際	235

5	介護予防教室運営のコツと実践例	237
	1) 遠隔通信式介護プログラム 2) 効果の実感が重要 3) 理学療法士に期待されること	
6	おわりに	239
2	認知症予防 ——牧迫飛雄馬	241
1	世界の動向（文献レビュー）	241
	1) 健常者に対する運動介入の効果 2) MCIに対する運動介入の効果 3) 認知症に対する運動介入の効果	
2	わが国における認知症予防の実際	246
	1) 認知症予防のターゲット 2) 認知症発症の危険が高い高齢者のスクリーニング 3) 認知症予防のための多面的な運動プログラムの概要 4) MCI高齢者に対する多面的なプログラムの効果	
3	認知症予防教室運営のコツと実践例	250
	1) プログラムの構造化 2) 各プログラム構成要素における実践留意点および実践のコツ 3) 予防教室の運営における留意点	
3	転倒予防 ——松林義人	258
1	世界の動向（文献レビュー）	258
2	わが国における転倒予防の実際	260
	1) 転倒予防の必要性 2) 運動機能の評価 3) ADLの評価 4) 活動性の評価 5) 精神心理・認知面の評価 6) 転倒予防の介入を実施するにあたっての注意事項 7) 転倒予防のための介入 8) 介入の効果 9) 介入効果を継続させるための工夫	
3	転倒予防教室運営のコツと実践例	266
	1) 対象者募集の工夫 2) 介入方法の実際 3) 介入方法の工夫	

第7章 行政における理学療法

逢坂伸子

1	行政理学療法士の役割機能	270
2	行政理学療法士が従事している分野	272
	1) 子どもに関する分野 2) 障害者に関する分野 3) 高齢者に関する分野 4) その他	
3	地域包括ケアにおける行政理学療法士の役割	274
	1) 地域包括ケアの5つの視点による取り組み	
4	地域包括ケアの取り組み事例	275
	1) ケアマネジャーに対するリハビリテーション教育 2) 理学療法士，作業療法士，言語聴覚士の同職種連携 3) 介護予防活動：住民主体の介護予防	
5	行政理学療法士が備えるべき知識と技術	280
	1) コーディネイト力とマネジメント力 2) 地域評価からPをはじめる	

第8章 地域の防災と災害支援

小野部純

1 災害時のチーム医療（理学療法士の役割）	285
1) 災害時の医療活動 2) 災害と防災の定義 3) 災害発生時の医療 4) リハビリテーション支援活動の目的と意義 5) 関連団体・行政などとの連携 6) 災害支援チームのあり方 7) 情報の一元化と共有化	
2 理学療法士ができる災害支援	290
1) 理学療法士の専門性について 2) 評価と情報の管理・共有 3) 各災害フェーズでの理学療法士の役割	
3 防災訓練で理学療法士が備えるべき知識と技術	299
1) 一般的な防災知識と技術 2) 理学療法士として備えるべき防災知識と技術	
● 国家試験練習問題 正答	301
● 索引	305